



#### (4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	38,000	MC 医師の配置及びMC 強化業務を医療機関へ委託
合計	38,000	

#### 決定額の考え方

#### (1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）

##### 第3部－第2章－第6節救急医療対策－7今後の施策

『適切な病院前救護活動を可能とするとともに、救急医療の諸課題を把握するため、救急隊や事後検証医を指導する医師（MC 医師）を各圏域に配置し、メディカルコントロール体制を強化します。

#### (2) 国・他県の状況

- ・国の救急医療体制等のあり方に関する検討会報告書（H26.2）において、今後検討すべき事項と方向性として、救急患者搬送・受け入れ体制の機能強化、メディカルコントロール（MC）体制の充実強化が必要との指摘があり、平成26年度に新たに国補助制度が創設された。
- ・平成27年度は「メディカルコントロール体制強化事業」と「搬送困難事例受入医療機関支援事業」の両方をあわせて実施。本事業単体の実施も可能であるが、MC 協議会と受入医療機関確保の両面からの取り組みを行うことが救急医療体制強化により効果的であるため、国補助制度を活用して両事業を実施する。

#### (3) 後年度の財政負担

- ・事業効果を検証し、県メディカルコントロール協議会等で事業内容の見直し等の検討を行う。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・メディカルコントロール協議会として行う事業であり、国補助制度上も都道府県が実施主体となる必要がある。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

救急搬送件数が年々増加する中、長時間搬送先が決まらない「搬送困難事例」の増加を防ぐなど、救急患者が適切な医療機関に迅速に搬送される体制を維持しながら、病院前救護活動の確実な実施や、消防機関と医療機関の連携により救急医療体制を充実させ、救急搬送困難事例の解消と、更には救急患者の救命率、社会復帰率の向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
救急搬送事案（重症）のうち受入医療機関が決まるまでの受入照会回数4回以上の割合（%） ※受入照会4回以上件数／総搬送人員（重症かつ転院搬送除く）	0.41 (H25)	0.30 (H29)	0.29 (H30)	0.30 (H31)	0.28 (R3)	93%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

平成28年4月から岐阜大学医学部附属病院への委託により、MC医師を8名配置し（現在は6名）、相談・指導等の業務を実施した。H30対応事案件数：146件（うち、特定行為指示43件、搬送困難事例19件）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

医療機関の救急搬送受入状況や救急搬送データの分析等救急医療に関する現状の把握、救急隊からの救急搬送に関する相談に対する指導助言等を行っており、今後その成果を把握・検証していく。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	高齢化が進み、救急搬送件数が年々増加する中、救急医療体制の充実の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	平成 26 年 11 月から事業を開始。MC 医師から救急隊に対する指導助言等（搬送困難時の病院選定や特定行為指示を含む）により、救急医療体制の強化が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	メディカルコントロール業務を行う医師を確保するため、適格な医師を有する医療機関に委託し、県及び県メディカルコントロール協議会と連携して事業を実施することで効率的に業務が実施できる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県メディカルコントロール協議会等において、事業効果を検証し、内容の改善・充実を図りながら実施する。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県メディカルコントロール協議会等において、事業効果を検証し、内容の改善・充実を図りながら事業を継続実施していく予定。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	